



“グループ わ” 北区会 親睦バスツアー

「史跡和歌山城・紀州東照宮」を訪ねて

好評の「北区会親睦バスツアー」の時期となりました。最近はお城について、歴史書、名城全集などがよく読まれ、また名城めぐりのバスツアーが各地方で盛んのです。

兵庫県には、「世界遺産の国宝姫路城」をはじめ天空の城竹田城、現在再建中の尼崎城のほか沢山の城があります。そこで徳川将軍 15 代の内、8 代吉宗から 6 名もの将軍を出した紀州徳川家の居城『史跡和歌山城』『関西の日光』とも呼ばれる『紀州東照宮』を見学することと致しました。

グループ わ 北区会 会員以外の方でも参加できますのでこの機会にご家族、近所の方等お誘い合わせの上ぜひ多数の方方のご参加くださいますようご案内致します。

日 時 平成 29 年 11 月 1 日 (水) (雨天決行)

集合 場所 ①しあわせの村第 3 駐車場 (大型バス専用) 07:50
②神戸電鉄谷上駅前 08:10 【駐停車時間がないので集合時間厳守】

行 程 しあわせの村 08:00 出発 ⇒ 神鉄谷上駅 08:20 経由 ⇒ 箕谷 IC ⇒ 《阪神高速》⇒ 芦屋 IC ⇒ 尼崎市立文化財収蔵庫 (09:00~09:40) ⇒ 尼崎の森中央緑地 (09:55~10:40) ⇒ 尼崎末広 IC ⇒ 《阪神高速湾岸線・阪和道》⇒ 海南 IC ⇒ 黒潮市場 (昼食 12:10~13:30) ⇒ 『史跡和歌山城』見学 (13:45~15:00) ⇒ 『紀州東照宮』見学 (15:10~15:50) ⇒ 和歌山 IC ⇒ 《阪和道・阪神高速湾岸線》⇒ 西宮浜 IC ⇒ 西宮 IC ⇒ 《阪神高速神戸線・神戸山手線》⇒ しあわせの村 (17:40) ⇒ 谷上駅 帰着 (18:00)



水揚げされたばかりのマグロの解体ショーが見られる、黒潮市場



徳川御三家の一つ、紀州徳川家の居城 国の史跡「和歌山城」



精巧な彫刻と絢爛豪華な壁画は、「関西の日光」の名に相応しい「紀州 東照宮」

参加費 お一人様 6,000 円 (バス・拝観料、食事代を含む)
当日集合場所で乗車前に徴収します。

募集 人員 45 名 (申し込み先着順、乗車場所を明確に申請して下さい)

申込締切り 平成 29 年 10 月 18 日 (水)

申し込み先 A ブロック 佐伯 義昭 (yoshisaeki@nifty.com 593-5092)
B ブロック 飯川 泰郎 (yasuomukashi12@yahoo.co.jp 592-2803)
C ブロック 芦田 義和 (y-ashida@kxe.biglobe.ne.jp 583-1196)
D ブロック 庄田 洋一 (ysho@sannet.ne.jp 950-2722)

見学先概要

① 尼崎市立文化財収蔵庫

尼崎の原始古代から近現代までの歴史をわかりやすく展示しています。

昭和 13 年竣工の歴史的建築物である旧尼崎高等女学校の校舎を再利用した尼崎市立文化財収蔵庫では、尼崎市内の遺跡から出土した考古資料や、尼崎城下町復元模型などの尼崎城や城下町に関する資料、尼崎の近代工業に関する資料、昔の生活用具などを展示しています。

② 尼崎の森中央緑地

尼崎の森中央緑地は、100年かけて、一人一人の参画により「地域が育てる森」とすることを基本理念としています。県民の参画と共同によって森づくりを進めていくことにしており、中央緑地に植える苗木の育成や植栽などを、市民活動組織をはじめとする多くの県民、企業等と一緒に進めています。

③ 黒潮市場

和歌浦湾に造成された人工島、「和歌山マリーナシティ」内にあるフィッシャマンワープ地元和歌山の魚介をはじめ、日本各地から集まる新鮮な海産物を販売する鮮魚、海産物店をはじめ、干物店、和歌山特産品、すし店、レストラン、バーベキューコーナーなど10店舗以上の店が集まっている。マグロ店では毎日3回生マグロを目の前で解体するショーが人気。

④ 史跡和歌山城

和歌山城は今から約430年前、豊臣秀吉が弟秀長に命じて岡山（虎伏山）の峰に普請奉行藤堂高虎が手掛けた最初の本格的な近世城郭といえる。慶長5(1600)年関ヶ原の戦いの後浅野行長が37万6千石の領主となり、城の大規模な増築を行った。連立式天守閣を建て、現在の本丸・二の丸・西ノ丸に屋敷を造営。大手を岡口門から一の橋野門に変え、本町通を大手筋として城下町を整備した。

元和5(1619)、徳川家康の十男・頼宣が55万5千石を拝領して入国し、御三家紀州藩が成立する。二の丸を拡張するため西内堀の一部を埋め立て、南の丸、砂の丸を内郭に取り入れれば現在の和歌山城の姿となった。昭和6(1931)年に史跡に指定された。

⑤ 紀州東照宮

元和7(1621)年、紀州藩主・徳川頼宣が父家康を祭るために創建した神社。頼宣が南海道の総鎮護として創建された社殿は「関西の日光」とも呼ばれ、権現造りになっている。本殿や拝殿の周囲に施された漆塗り・極彩色の精巧な彫刻、狩野・土佐両派の絵の豪華さに目を奪われる。特に左甚五郎作の彫刻や狩野探幽作のふすま絵は必見、鮮やかな色彩を目のあたりにすると当時の時代が壮麗な絵巻物となって浮かんでくる。